

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	人工関節置換術におけるインプラントの画像評価に関する研究		
2. 対象患者	当院で人工股関節全置換術、人工膝関節全置換術を施行された患者さま80名		
3. 対象となる期間	2015年 4 月 1 日 ~ 2023年 3 月 31 日		
4. 実施診療科等	整形外科		
5. 研究責任者	氏名	大石 和生	所属 地域救急医療学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	人工関節置換術は主に変形性関節症や関節リウマチなどの関節疾患に対する除痛や関節機能の改善に有効であり、確立された手術治療です。その術後評価には各種画像評価が行われており、近年トモシンセシスが導入されました。トモシンセシスは金属アーチファクトや被爆の軽減に関してX線、CTよりも有用であり、インプラントの生物学的固着やアライメント等の画像評価をより早期に詳細に行える可能性があります。本研究では人工関節術後に各種画像評価を振り返り、インプラントの生物学的固着やアライメント等が術後成績などに与える影響を検討し、将来の臨床成績向上へつなげます。		
8. 研究の目的	インプラントの生物学的固着やアライメント等の画像評価が、術後成績などに与える影響を検討すること		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	2015年4月1日以降に当院でインプラントを使用する手術を受けられた患者様を対象とします。患者背景、外来診療記録、入院診療記録、手術記録、X線画像、CT画像、MRI画像、アンケート形式の臨床評価表等を使用し、画像評価による生物学的固着の有無やアライメントとその臨床成績の関連に関して統計学的検討を行います。		
10. 個人情報の保護	参加拒否の申し出があった場合、その患者様のデータを速やかに削除します。ただし、すでに研究成果が公表済みの場合は公表後のデータの修正には応じられません。 診療記録などから患者さま個人を特定できないように匿名化を行い、住所、生年月日、治療が行われた具体的な期日等は伏せられます。研究結果の公表については、個人レベルでの情報・データは公表せず、平均値等により数値化して公表します。研究を行う者に個人情報の取り扱い、守秘義務を周知・徹底させます。		
11. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反はありません。		
12. 連絡先	大石 和生 (弘前大学大学院医学部附属病院 整形外科)		
	電話	0172 - 39 - 5083	FAX 0172 - 36 - 3826